

松前町商工会経済レポート（令和2年度第2四半期）

松前町商工会

本レポートは、愛媛県や中小企業庁が公表する各種経済動向調査の概要を四半期毎に取りまとめ、報告するものです。

1. 最近の県内経済情勢

愛媛県では、各種経済指標や県内産業の動向をとりまとめ、毎月、月末をめぐりにホームページ上で「最近の県内経済情勢」として公表しています。その中から、愛媛県の経済概況と、町内主要産業別の状況を抜粋して掲載します。

（1）愛媛県の経済概況

1 経済概況

新型コロナウイルス感染症の影響により、全体として弱い動きが続いている。 前回との比較 →

○個人消費 前回との比較 →
一部で弱い動きがみられるが、全体としては持ち直しの動きとなっている。
【百貨店・スーパー販売額】前年同月比0.5%増加、2か月連続で前年を上回る。
【専門量販店販売額】ドラッグストアは9か月連続、ホームセンターは6か月連続、家電大型専門店は3か月連続で前年を上回る。
【コンビニエンスストア販売額】5か月連続で前年を下回る。
【新車販売台数】普通乗用車は10か月連続で前年を下回り、軽乗用車は10か月ぶりに前年を上回る。

○住宅・公共工事
住宅着工は弱含んでいる。 前回との比較 →
公共工事はやや弱い動きがみられる。 前回との比較 →
【新設住宅着工戸数】前年同月比1.5%増加、2か月連続で前年を上回る。
【公共工事】請負金額の前年同月比は0.2%増加、3か月ぶりに前年を上回る。

○生産活動 前回との比較 →
このところ弱い動きとなっている。
【鉱工業生産指数】前年同月比(原指数)8.5%低下、3か月連続で前年を下回る。
汎用・生産用機械の業種で前年を上回る。
輸送機械、石油・石炭製品、鉄鋼等の業種で前年を下回る。

○雇用・所得
雇用情勢は、求人が求職を上回って推移しているものの、求人が減少している中、求職者が増加しており、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に、より一層注意する必要がある。 前回との比較 →
雇用者所得は概ね横ばい圏内の動きとなっている。 前回との比較 →
【有効求人倍率】1.25倍と、83か月連続で1倍を超えた。
【正社員有効求人倍率】0.98倍と、前年を下回る。
【現金給与総額】名目では前年比1.2%減、7か月ぶりに前年を下回る。
実質でも1.2%減、7か月ぶりに前年を下回る。

（資料）愛媛県産業政策課「最近の県内経済情勢（令和2年8月分）」より転載

<https://www.pref.ehime.jp/h30100/jousei/documents/kennaikeizaihatigatu.pdf>（参照 2020-10-20）

(2) 地場産業の状況（令和2年4月～令和2年6月の状況）

業種	産業事情
自動車関連	自動車関連は、新型コロナウイルス感染症の影響により、操業度を下げているが、需要は戻りつつある。
鉄工	中小鉄工は、新居浜地域・西条地域で、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車関連、建設機械、産業機械及び鋳鉄物は、需要が大きく減少しており、操業度を下げている。 鉄構は、一定の操業度を維持しているが、コロナ禍前の受注での操業であり、今後の需要は不透明である。
陶磁器	陶磁器及び瓦は、新型コロナウイルス感染症の影響により、催事がなく、需要の低下が深刻化しており、操業度を大きく下げている。
珍味品	珍味品は、新型コロナウイルス感染症の影響により、スーパー向けの販売に影響はないが、土産物店の販売が大きく減少し、操業度を下げている。
陸運関係	陸運関係では、燃料費が下がっているものの、需要が大きく減少。また、荷主企業の工場停止や減産により、荷物が大きく減少している。

（資料）愛媛県産業政策課「最近の県内経済情勢（令和2年8月分）」より抜粋して掲載
<https://www.pref.ehime.jp/h30100/jousei/documents/kennaikeizaihaticatu.pdf>（参照 2020-10-20）

2. 中小企業景況調査報告書

「中小企業景況調査」は、中小企業施策立案の基礎資料を収集するために、(独)中小企業基盤整備機構が四半期毎に実施、中小企業庁と同機構が共同で結果を取りまとめ、公表しています。






(1) 業種別業況判断D I と天気図

「中小企業景況調査」では、業況判断D I 調査が実施されています。

D I とは、前年同期と比べた今期の状況について、「増加（上昇、好転）」の割合から「減少（低下、悪化）」の割合を差し引いた値で、景況感の相対的な広がりを示すものです。

以下の記号とD I 値の関係に基づいて、直近の調査報告データを視覚化してご紹介します。

<記号とD I 値の関係>

 快晴 ~30.1	 晴 30.0 ~10.1	 薄曇 10.0 ~▲10.0	 曇 ▲10.1 ~▲30.0	 雨 ▲30.1~
---	--	--	---	---

<業種別業況判断D I と天気図（2020年7-9月期）>

製造業	食料品  ▲26.7	繊維工業  ▲48.6	木材・木製品  ▲47.6	家具・装備品  ▲28.3	パルプ・紙・紙加工品  ▲32.9
	印刷  ▲53.0	化学  ▲36.3	窯業・土石製品  ▲37.5	鉄鋼・非鉄金属  ▲31.2	金属製品  ▲45.1
	機械器具  ▲51.4	電気・情報通信機械器具・電子部品  ▲43.8	輸送用機械器具  ▲41.1	その他の製造業  ▲43.6	
非製造業	建設業  ▲21.8	卸売業  ▲37.4	小売業  ▲36.2	宿泊業  ▲44.3	飲食業  ▲32.2
	対個人サービス業（生活関連）※1  ▲34.2	対個人サービス業（自動車整備その他）※2  ▲29.2	対事業所サービス業（運送・倉庫）※3  ▲42.4	対事業所サービス業（専門技術その他）※4  ▲23.8	情報通信・広告業  ▲22.8

※1「対個人サービス業（生活関連）」は、不動産業、洗濯・理容・美容・浴場業、その他の生活関連サービス業等の8業種。

※2「対個人サービス業（自動車整備その他）」は、自動車整備業、機械等修理業。

※3「対事業所サービス業（運送・倉庫）」は、道路旅客運送業、道路貨物運送業、倉庫業等の5業種。

※4「対事業所サービス業（専門技術その他）」は、専門サービス業、技術サービス業、廃棄物処理業等の5業種。

(資料) 中小企業庁「第161回中小企業景況調査（2020年7-9月期）」より松前町商工会作成

(2) 「調査対象企業のコメント」から見る経営上の問題点

- ・ コロナのため、旅行業界は先が見えない状況が続いている。県と市のキャンペーンのお陰で、例年より利用客数が増えているが、その後が心配である。[宿泊業 秋田]
- ・ 梅雨による長雨とコロナ禍による巣ごもり需要もあり、ネット通販が好調。利益率は低いものの、一定数の顧客確保にはなっている。店舗売上は減少しているが、店内の不採算部門は縮小し、スペースを有効活用した。[小売業 静岡]
- ・ 資材関連の仕事で繋いでいる状況で、アパレル関連は、先の見通しが難しい状況です。ネット関連の製品売り、輸出を強化して、売り上げを、キープしたいです。[繊維工業 和歌山]
- ・ 少数での現場で感染者が出ると、現場が止まってしまうので、不安となっている。また梅雨明けが長引いたため、工事が予定より完成が遅れてしまい、資金繰りに影響がでないよう早く進めたいと思います。[建設業 山口]
- ・ 建設業界マーケットの縮小による受注額の減少と競争激化による利益率の減少。[卸売業 愛媛]

(資料) 中小企業庁「第161回中小企業景況調査(2020年7-9月期)」より抜粋

中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：2020年度第2四半期（2020年7月～9月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：150企業

（製造業：30社 建設業：20社 小売業：41社 サービス業：59社）

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ～30.1	 晴 30.0 ～10.1	 薄曇 10.0 ～▲10.0	 曇 ▲10.1 ～▲30.0	 雨 ▲30.1～
---	--	--	--	---

1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

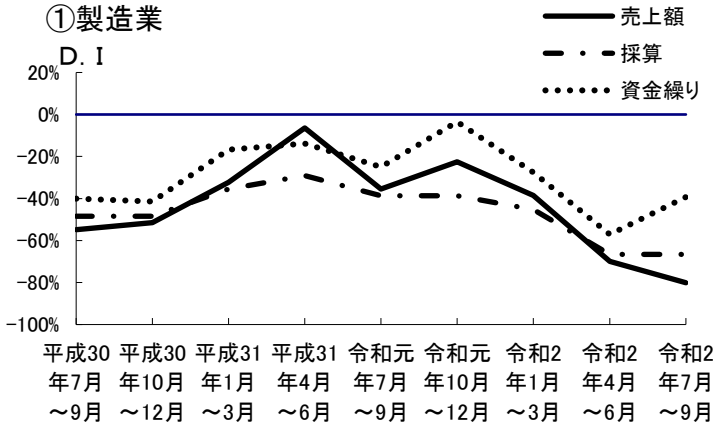
期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	平成30年 7～9月期	 ▲ 46.7	 5.0	 ▲ 45.0	 ▲ 16.9	 ▲ 25.9					
平成30年 10～12月期	 ▲ 30.0	 15.0	 ▲ 48.6	 ▲ 16.9	 ▲ 20.1						
平成31年 1～3月期	 ▲ 36.7	 20.0	 ▲ 47.5	 ▲ 28.8	 ▲ 23.3						
平成31年 4～6月期	 ▲ 23.4	 30.0	 ▲ 45.0	 ▲ 12.1	 ▲ 12.6						
令和元年 7～9月期	 ▲ 36.7	 20.0	 ▲ 41.0	 ▲ 15.2	 ▲ 18.2						
令和元年 10～12月期	 ▲ 26.7	 10.0	 ▲ 46.2	 ▲ 25.4	 ▲ 22.1						
令和2年 1～3月期	 ▲ 43.3	 0.0	 ▲ 55.0	 ▲ 23.7	 ▲ 30.5						
令和2年 4～6月期	 ▲ 69.0	 ▲ 25.0	 ▲ 77.5	 ▲ 60.3	 ▲ 58.0						
令和2年 7～9月期	 ▲ 55.2	 ▲ 20.0	 ▲ 65.9	 ▲ 54.2	 ▲ 48.8						
来期見通し 10～12月期	 ▲ 58.7	 ▲ 20.0	 ▲ 67.5	 ▲ 45.7	 ▲ 48.0						

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向

①製造業



<前期比>

売上額 : 悪化 (▲69.9→▲80.1 ポイント)

採算 : 横ばい (▲66.6→▲66.6 ポイント)

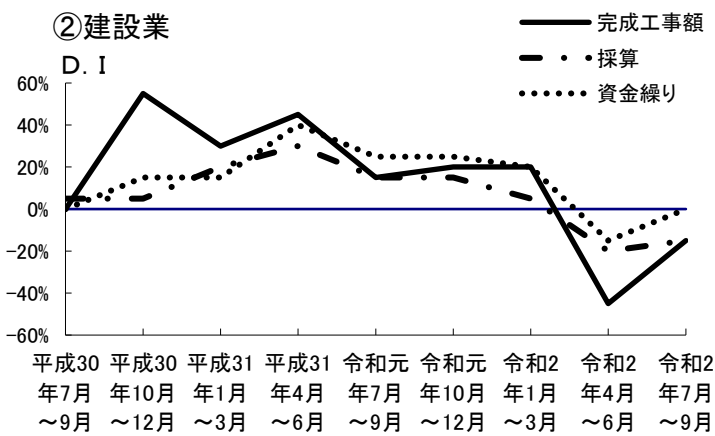
資金繰り : 好転 (▲57.1→▲39.3 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (28.6%)

2位 : 従業員の確保難 (14.3%)

②建設業



<前期比>

完成工事額 : 好転 (▲45.0→▲15.0 ポイント)

採算 : やや好転 (▲20.0→▲15.0 ポイント)

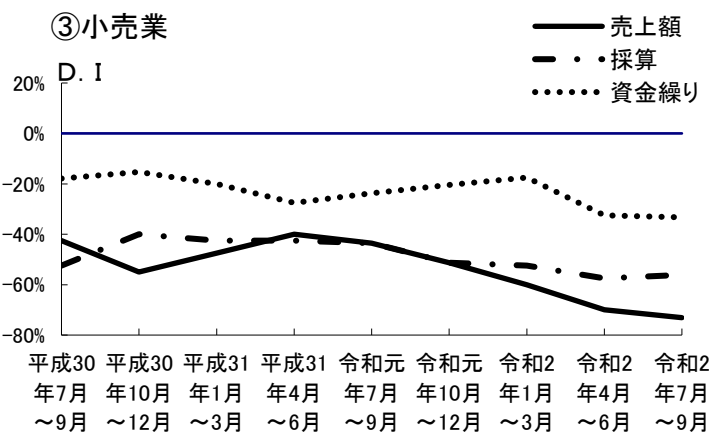
資金繰り : 好転 (▲15.0→0.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 官公需要の停滞 (30.8%)

2位 : 民間需要の停滞 (23.1%)

③小売業



<前期比>

売上額 : やや悪化 (▲70.0→▲73.1 ポイント)

採算 : やや好転 (▲57.5→▲56.1 ポイント)

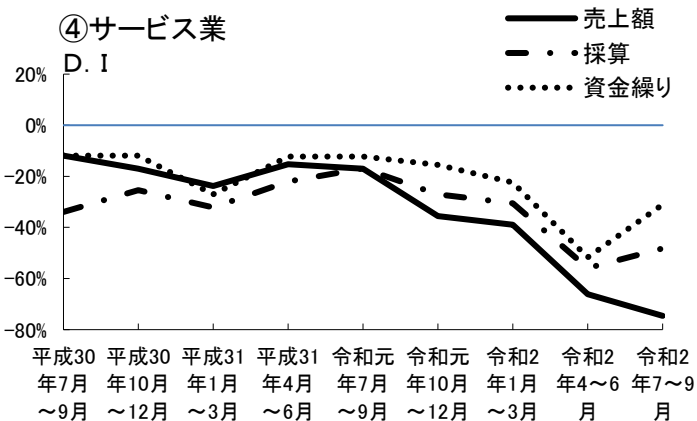
資金繰り : ほぼ横ばい (▲32.5→▲33.3 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (28.2%)

2位 : 消費者ニーズの変化 (10.3%)

④サービス業



<前期比>

売上額 : やや悪化 (▲66.1→▲74.6 ポイント)

採算 : やや好転 (▲55.9→▲48.2 ポイント)

資金繰り : 好転 (▲51.7→▲31.1 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (37.8%)

2位 : 利用者ニーズの変化 (17.8%)